



## 1、 島内の 25 年産米の収穫状況について

## 2013年のまとめ

25 年産米の佐渡米は作況指数としては 105 ということでしたが、農家の感覚としてはそれほど収量が多いとは感じていないようです。しかし、出穂期以降の寒暖差が大きかったため、じっくりと穂が熟し甘みのあるお米になりました。25 年産の一等米比率は約 69.7%（H25.12 月末現在）で、玄米の中心が白く濁って見える心白粒や乳白粒は多少ありましたが、昨年度よりも胴割粒が少なくなりました。今年のお米づくりでは、引き続き気象変動に左右されないように地力増進（土づくり）を推進し、“おいしさ”と“みばえ”を兼ね備えたお米づくりを実践します。

## 2、 朱鷺情報

一昨年に引き続き、昨年も自然界で朱鷺のヒナ 13 羽が誕生し、うち 2 カップルから 4 羽が巣立ちを迎えることができました。母鳥の巣の放棄やカラスに襲われヒナが巣から落ちてしまうなど、いくつもの苦難を乗り越えた中でこの 4 羽の巣立ちは大変喜ばしいニュースでした。

## 2013年 佐渡の伝えきれなかった嬉しいニュース

### 1、佐渡 「大切にしたい島」全国で3位

自然体験活動などを通じて、青少年の健全な育成などに取り組む「ブルーシー・アンド・グリーンランド（B&G）財団」が行なったアンケート調査の結果、「あなたが大切にしたい島」というテーマで、石垣島・淡路島を抑え、佐渡ヶ島が全国3位に選ばれました。背景として、トキが生きる自然や佐渡に根付いている能楽などの文化が評価されたことが今回選ばれた理由でした。



### 2、佐渡 日本ジオパーク認定

地殻変動の分かる地層や固有の生態系などが認められ 9 月 24 日に、佐渡地域が「日本ジオパーク」に認定されました。佐渡市では、今後 2016 年の「世界ジオパーク」の認定を目指しており、今回その前提となる認定を受け、甲斐元也市長を始め、島民共々皆で喜んでいます。



### 3、16 年の全国棚田サミット、開催地は“佐渡”

棚田の保全・活用、地域活性について考える「全国棚田（千枚田）サミット」の 2016 年開催地が佐渡に決定しました。棚田サミットは、1995 年より毎年行なわれていて、講演や現地視察を 2 日に渡り行なわれます。離島として初開催であることから、市では今後佐渡の環境の PR しようと、実行委員会を設立し、プログラムを協議していく方向で話し合いを進めています。



### 4、佐渡乳業チーズが初の金賞

佐渡乳業が製造している「農場クリームチーズ」が「第 9 回 ALL JAPAN ナチュラルチーズコンテスト」において、初の最高位の金賞に輝きました。佐渡の酪農家から仕入れている生乳は全て、厳しい衛生基準を通過したクリーンミルク生産農場の認定を受けています。滑らかな舌触りと酸味、全体的にバランスが整っている点で評価されたことが選ばれた理由でした。

